

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.41



写真：林業Grand Prix2016in県民の森での木工教室
(栃木県県民の森)
—とちぎの元気な森づくり県民会議事業—

▼特集

- ①「森の子サミット」ってなあに？
- ②とちぎの元気な森づくり県民税事業あり方検討会開催♪
- ③平成27年度とちぎの元気な森づくり県民税事業&平成20～27年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価
- ④森林の整備等を目的とする都道府県による独自課税の導入状況
- ⑤8月11日は山の日！

▼元気な森づくり県民会議だより

森づくり推進部会、木づかい推進部会、普及・啓発部会の活動

▼伝言板

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3294



とちぎの森づくりNEWSは、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。



「森の子サミット」ってなあに？

～ 宇都宮市冒険活動センターで体験交流活動を開催 ～

栃木県では、ふるさとの大切な森林を将来に引き継いでいくために、森林の大切さの理解促進を図り、森づくり活動に取り組む「人づくり」を進めています。

その一環として、子どもたちを対象とした森林や環境に関する体験交流活動「とちぎ森の子サミット」を開催しています。今年度は次のとおり開催しました。

- 1 開催日 平成28年8月7日（日）
- 2 場 所 宇都宮市冒険活動センター
- 3 参加者 53名（県内の緑の少年団、こどもエコクラブ）
- 4 活動内容 緑の少年団やエコクラブの仲間と交流しながら、次の3つの活動メニューを体験し、森林や環境に対する理解を深めていただきました。

（1）自然観察



落ち葉の下には何があるかな？



冒険活動センター内の公園を散策しながら、自然観察のポイントを学び、植物や生き物など、自然とふれあいました。

（2）工作体験



これが木登りおもちゃです。

講師の方の説明をよく聞きながら…

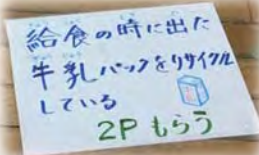


みんな上手に作っていました！

糸を引くと人形が上がっていく「木登りおもちゃ」づくりを楽しみながら、木のぬくもりやにおいを感じました。

（3）エコ・プログラム

グループをつくらせてすごろくをしながら…



ふだんエコに取り組んでいるか、みんなで考えました。

ポイントを競い合いながら、楽しく学びました。



大きなサイコロを使ったすごろくで、みんなで体を動かしながらエコライフについて楽しく学びました。

子どもたちの声（アンケート結果より）

- ・また木工工作をやりたい。
- ・植物や虫を観察して、絵に描いてみたい。
- ・落葉を使った工作をしてみたい。
- ・森についてもっとよく知りたい。

特集②

とちぎの元気な森づくり県民税 事業あり方検討会開催♪

平成29年度で課税期間が終了するとちぎの元気な森づくり県民税について、平成30年度以降の今後のあり方等を検討するため、8名の有識者からなる「とちぎの元気な森づくり県民税事業あり方検討会」が開催されました。

～ 第2回 ～

8月2日(火)、第2回あり方検討会(現地調査)が開催されました。調査箇所として、「広葉樹林化が望ましい森林」、「大面積皆伐地」、「ボランティア等により活用されている里山林」、「木質バイオマス発電施設」を調査しました。

各委員からは、実際に現地に来て、森林の現状と課題についての理解が進んだなどの御意見をいただきました。



↑ 大面積皆伐地 ↑



↑ ボランティア等により活用されている里山林 ↑

～ 第3回、第4回 ～

9月5日(月)、栃木県庁東館4階講堂で第3回あり方検討会が開催されました。

今後のあり方の方向性について、各委員から「とちぎの元気な森づくり県民税継続の要否」や「次期とちぎの元気な森づくり県民税の使途」について、御意見をいただきました。

10月17日(月)、栃木県庁北別館201会議室で第4回あり方検討会が開催されました。

意見書の取りまとめに向けて、各委員から「継続の必要性」や「税の使途等」について、検討していただきました。



第3回検討会 県庁東館4階講堂



第4回検討会 県庁北別館201会議室



平成27年度とちぎの元気な森づくり県民税事業& 平成20～27年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

～ 評価委員会による報告書がまとまる ～

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会において、平成27年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施状況等について検証・評価が行われ、その結果が報告書としてとりまとめられました。

また、平成29年度に課税期間が終了することから、これまでに実施したとちぎの元気な森づくり県民税事業のうち主なものについてその役割・効果の検証・評価が行われ、その結果についても報告書としてとりまとめられました。この8年間の評価結果については、とちぎの元気な森づくり県民税事業あり方検討会において、今後のあり方の方針を検討する際の参考に用いられました。



平成27年度評価報告書

評 価

- 平成27年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。
引き続き、「有効性」、「効率性」、「進ちょく度」に十分配慮し、事業の適正な執行に努めること。



平成20～27年度評価報告書
(8年間の総括)

評 価

- とちぎの元気な森づくり県民税事業の所期の目的は概ね達成されていると認められるものの、なお対策が必要とされる課題も残されている。
【今後の課題等】
 - ・ 奥山林及び里山林の継続的な維持管理
 - ・ 獣害対策の強化
 - ・ 県民の森林整備や木材利用への理解促進

— 評価委員会について詳しくは県ホームページを御覧ください —

(栃木県HP) ホーム > 暮らし・環境 > 自然・動植物 > 森づくり
> とちぎの元気な森づくり県民税 (とちぎの元気な森づくり県民税事業)
> とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/shinrin/zenpan/moridukurihyoukaiinkai.html>



特集④

森林の整備等を目的とする 都道府県による独自課税の導入状況

日本は世界有数の森林国であり、国土の面積の約3分の2（約2,508万ha）を森林が占めています。森林は、水をきれいにする機能があるほか、土砂災害防止や地球温暖化防止に貢献したり、様々な機能を持っています。

各地の都道府県では、森林の整備を主な目的として、独自の課税制度を導入する取組が広がっています。

平成15年度に高知県が全国で初めて森林環境税を導入して以来、平成28年度までに37府県が同様の制度を導入しています。

栃木県では、元気な森を次の世代に引き継いでいくために、平成20年度から「とちぎの元気な森づくり県民税」を導入しています。

栃木県の森林は、
県の面積のおよそ
半分の約35万ha
です。



～各地ではこんな取組をしています～

- 水源地等における森林整備
- 普及啓発
- 森林環境学習
- ボランティア支援
- 集落周辺等の里山整備
- 木材利用促進
- 人材育成 など



特集⑤

8月11日は山の日!

～山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日～

今年から8月11日が国民の祝日「山の日」となったことを祝うとともに、その普及・啓発を図るため、栃木県「山の日」制定記念フェスティバル及びファミリー登山教室を開催しました。

○栃木県「山の日」制定記念フェスティバル

日時 平成28年8月11日（木・祝）

場所 日光だいや川公園

来場者 約2,000人

- 内容
- ・記念セレモニー
 - ・登山基礎知識講座等のステージイベント
 - ・生き物の観察会等の自然体験イベント
 - ・栃木の山の恵みを味わえる食体験イベント

○「山の日」制定記念ファミリー登山教室in霧降高原

日時 平成28年8月12日（金）

場所 日光市霧降高原

参加者 98名



平成29年度は、山の日に関する全国的な式典である**第2回「山の日」記念全国大会を本県那須町で開催**することになり、平成28年10月28日には、大会開催のための実行委員会の設立総会等を開催しました。

元気な森づくり県民会議だより

森づくり推進部会

イベント等にて、元気な森づくりをPR!

実施日	イベント名等
8月20日（土）	栃木県林業センター公開デー （宇都宮市）
10月15日（土）	ベルモールでのPR活動 （宇都宮市）

県主催のイベントや、宇都宮市内の商業施設において、とちぎの元気な森づくりをPRしました。

商業施設を活用することで、県の各種イベントには御来場いただけない方々にもPRすることができました。

多くの方々に工作体験へ参加いただき、さらにパネル展示やPRグッズ、パンフレットの配布とおして参加者の皆様に「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した「間伐」など、「とちぎの森づくり」について理解を深めていただきました。



押し花しおりづくり
（県林業センター）

松ぼっくりパラシュートづくり

とちぎの元気な森づくりをPR
（ベルモール）



木工工作コンクール、金賞決まる!

～ 第9回子どもたちの木工工作コンクールの審査結果について ～

子どもたちの木づかい活動を広く普及するため、第9回子どもたちの木工工作コンクール（第41回全国児童・生徒木工工作コンクール栃木県大会）を開催し、応募作品351点の中から6点の作品が金賞受賞となりましたので御紹介します。

この金賞受賞作品は、平成29年2月に開催予定の第41回全国児童・生徒木工工作コンクールに栃木県代表として出品されます。

金賞（最優秀賞）：栃木県 知事賞

○小学校低学年の部
「ねずみの音楽鑑賞会」



那須塩原市立大原間小学校
4年 室井 斐奈葵 さん

○小学校高学年の部
「流木のティラノサウルス」



那須町立東陽小学校
5年 渡邊 彪叶 さん

○中学校の部
「平和への羽ばたき」



那須塩原市立高林中学校
3年 吉田東矢 さん、坂本龍汰 さん
菊地 陸 さん、李 春天 さん

金賞：栃木県 教育委員会教育長賞

○小学校低学年の部
「かんらん車」



那須塩原市立高林小学校
4年 田代 さくら さん

○小学校高学年の部
「鹿沼市立北小学校」



鹿沼市立北小学校
6年 笠原 悠一郎 さん

○中学校の部
「The Earth Friend
～アースフレンド～」



那須塩原市立高林中学校
1年 菊地奏太 さん、星 光将 さん
今井元基 さん

普及・啓発部会

元気な森づくりの 取組活動をPR!

～ とちぎ林業Grand prix2016 ～



森づくり県民税による取組をPR

10月30日（日）に、林業の仕事を県民に知ってもらおうと、矢板市の県民の森でとちぎ林業Grand prix（グランプリ）が行われました！

このイベントの中で、「とちぎの元気な森づくり県民税」事業のパネル展示や県民税についてアンケートを実施・とちもりくんグッズを配布し、訪れた方々に、元気な森づくりの取組についてPRしました。

ほかのブースでは、丸太切りの体験コーナーや飾り棚を製作する木工教室、森の恵みであるきのこグルメなどがあり、参加者の皆さんも楽しく過ごされていました。



とちもりくんクイズに挑戦！



広い会場にはたくさんのブースが出演



いろいろな林業機械の展示・実演

伝言板 スキマの時間ですぐ学べます!

～ 森づくりを知らないなら、動画を見ませんか? ～



ホームページ「とちぎの森づくり」には、元気な森づくりの取組内容を紹介している動画があります。（約15分間）

ぜひ御覧くださいっ！

ぼくが紹介してます。



とちもりくん

とちぎの森づくり 検索

「とちぎの森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。